

「福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング結果」に関する見解

平成 23 年 3 月 24 日 15:00

原子力安全委員会

文部科学省から情報提供を受けた「福島第一原子力発電所周辺の海域モニタリング結果」に基づいて、原子力安全委員会は、現時点において次のとおり判断します。

1. 海水中からヨウ素及びセシウムが検出されております。
2. 一般的には、海水中に放出された放射性物質は、潮流に流されて拡散していくことから、実際に魚、海藻等の海洋生物に取りこまれるまでには、相当程度薄まると考えられます。また、ヨウ素については、半減期が 8 日と比較的短いため、人がこれらの海産物を食するまでには、相当程度低減しているものと考えられます。
3. 引き続き、海域モニタリング調査を実施するべきと考えております。
4. なお、海域モニタリング調査の一環として実施する海水のサンプリングにあたっては、可能であれば鉛直方向にも追加で試料採取・分析を行うことを助言します。